

令和5年産(4年播種) 麦類生育概況

長野県農業試験場 作物部

調査月日	項目	大麦:ファイバースノウ			小麦:シラネコムギ			小麦:東山55号(しろゆたか)参考		
		平年	令和4年(播)~5年(産)	平年比	平年	令和4年(播)~5年(産)	平年比	昨年	令和4年(播)~5年(産)	平年比
出芽期	出芽数 本/m ²	159	-	-	158	-	-	191	-	-
越冬前 (12月15日)	草丈 cm	11.8	19.4	164%	14.8	16.6	112%	14.4	15.7	
	茎数 本/m ²	419	873	208%	444	940	212%	747	940	
	葉数	4.0	5.2	+1.2	4.3	5.9	+1.6	6.2	5.7	
越冬後 (3月1日)	草丈 cm	12.7	17.3	136%	15.8	18.2	115%	15.8	17.9	
	茎数 本/m ²	783	1227	157%	1140	1225	107%	1210	1345	
	葉数	6.5	7.2	+0.7	6.7	7.9	+1.2	7.7	7.8	
(3月15日)	草丈 cm	15.3	18.5	121%	19.4	21.2	109%	16.0	22.4	
	茎数 本/m ²	948	1263	133%	1135	1000	88%	1293	1130	
	葉数	7.5	8.2	+0.7	7.6	8.9	+1.3	8.8	8.7	
幼穂形成期 茎立期(参考)		2月27日	2月28日	+1	3月15日	3月6日	-9	3月11日	3月1日	
		3月28日	3月27日	-1	3月27日	3月27日	+0	4月1日	3月27日	
出穂期		4月28日	4月19日	-9	5月5日	4月29日	-6	4月29日	4月26日	
成熟期		6月6日	5月30日	-7	6月16日	6月15日	-1	6月14日	6月14日	
成熟期	稈長 cm	95	91	96%	89	90	101%	84	87	
	穂長 cm	4.6	4.8	105%	8.5	8.1	96%	8.3	8.0	
	穂数 本/m ²	481	560	116%	558	590	106%	524	662	
収量	子実重 kg/a	70.5	61.5	87%	67.2	62.8	93%	82.5	55.2	
	容積重 g/l	694	670	96%	796	820	103%	762	811	
	千粒重 g	38.6	37.9	98%	41.8	41.6	99%	42.9	43.5	

※平年値は過去7年間における収量最大年と最小年を除いた5カ年の平均値。

※茎立期(下位節間長2cm)はデータ数不足により平年値は参考値として平成30年度~令和3年度の平均値を示す。

※東山55号(しろゆたか)は供試年数が少ないため、昨年と本年の参考値。

※ファイバースノウは反復の1区が晩熟、成熟未達、倒伏多であったため無反復で記載(参考値扱い)。

<耕種概要>

栽培様式:30cm条間ドリル播

播種期: 大麦 令和4年10月20日、小麦10月20日 播種量: 7kg/10a

施肥量(N): 基肥 6kg/10a

酸度矯正: 炭苦土石灰50kg/10a

茎立期追肥: 3月6日 N3kg/10a 止葉展開期追肥: 大麦4月10日 小麦4月20日 N2kg/10a

<生育概況>

越冬前 播種は平年並みに行われ、その後も好天が続き、出芽状況は良好であった。越冬前の生育は、播種後、平年より高温多照傾向が続いた影響からか、草丈、茎数、葉数ともに前進していた。

越冬後 越冬期間の1~2月はほぼ平年並みの気温推移で、降雪量はやや少なめであった。3月上旬以降は急激な高温となり、中旬の降水量は平年より多くなった。麦の生育は大麦・小麦とも草丈、茎数、葉数の何れも、平年に比べ多い傾向が見られた。3月15日調査では、小麦(シラネコムギ)茎数のみ平年並みに留まった。

幼穂形成期~茎立期 大麦の幼穂形成期は平年並みの2月下旬であったが、小麦では平年より10日程度早くなった。茎立期(下位節間長2cm)は大麦・小麦とも平年並みの進捗であった。

出穂期 越冬後3月全般の高温の影響により、大麦では平年に比べ9日早く、小麦では平年に比べ6日早い出穂期となった。

成熟期 大麦では7日早い成熟期であった。大麦の稈長・穂長は平年並み、穂数は多い傾向であった。なお、大麦の1区で肥料の影響から成熟期が大幅に遅れて未達となり、また、著しい倒伏も認められたため、データは残り1区のみで、反復無しの記載とした。小麦では平年より1日早い成熟期であった。小麦の稈長は平年並みで、穂長はやや短く、穂数は多い傾向がみられた。

収量 大麦では子実重は平年に比べやや少なく、容積重・千粒重はほぼ平年並みであった。小麦では子実重は平年に比べ僅か少なく、容積重は僅か多く、千粒重は平年並みであった。